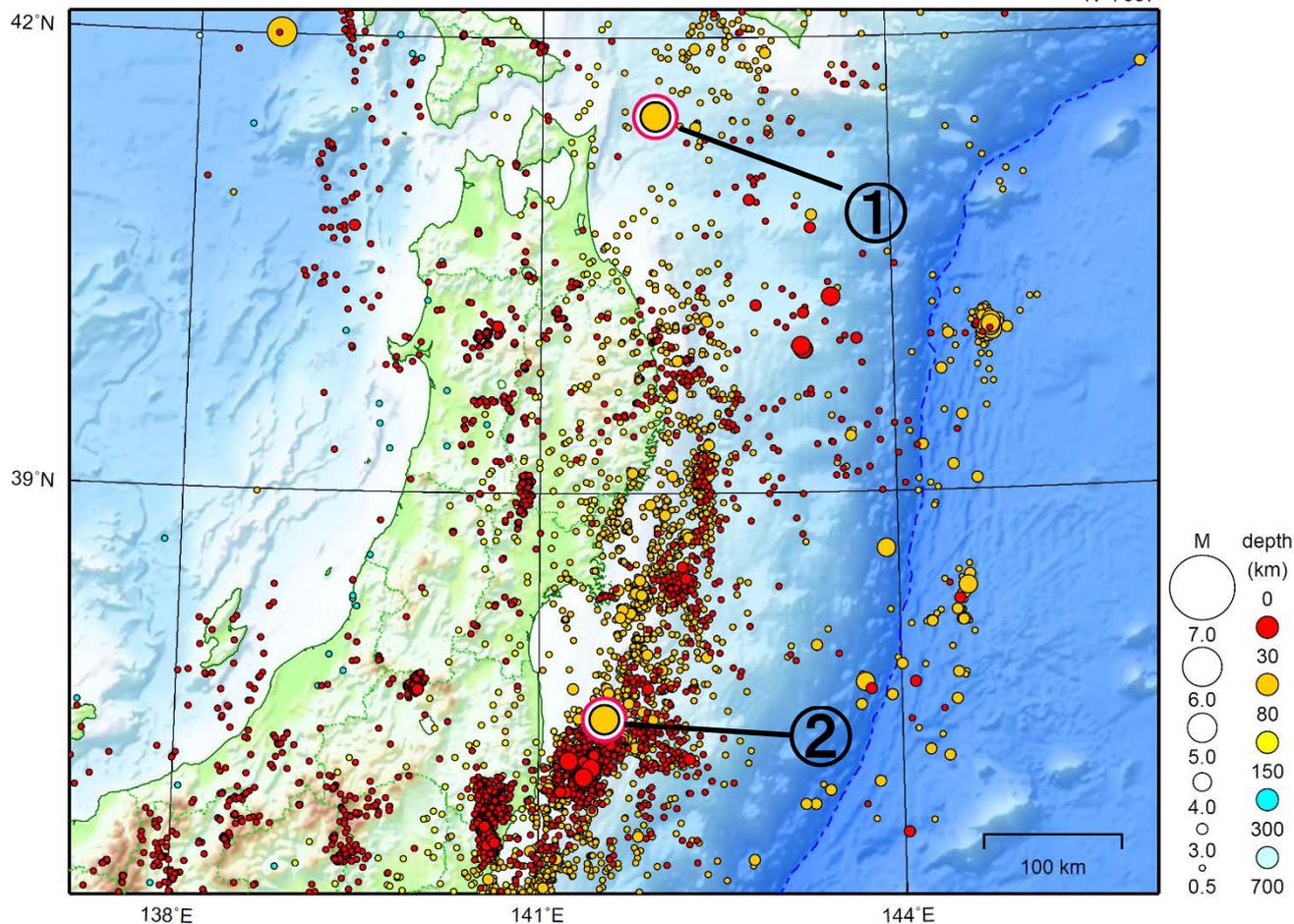


# 東北地方

2017/03/01 00:00 ~ 2017/03/31 24:00

N=7657



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

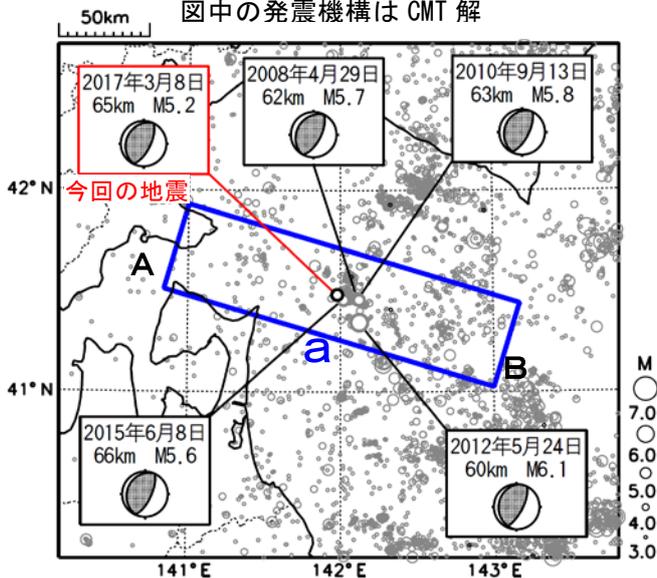
- ① 3月8日に青森県東方沖でM5.2の地震（最大震度3）が発生した。
- ② 3月12日に福島県沖でM5.4の地震（最大震度4）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

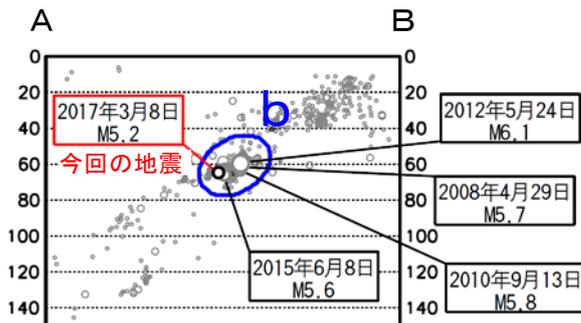
# 3月8日 青森県東方沖の地震

震央分布図  
(1997年10月1日~2017年3月31日、  
深さ0~150km、M≥3.0)

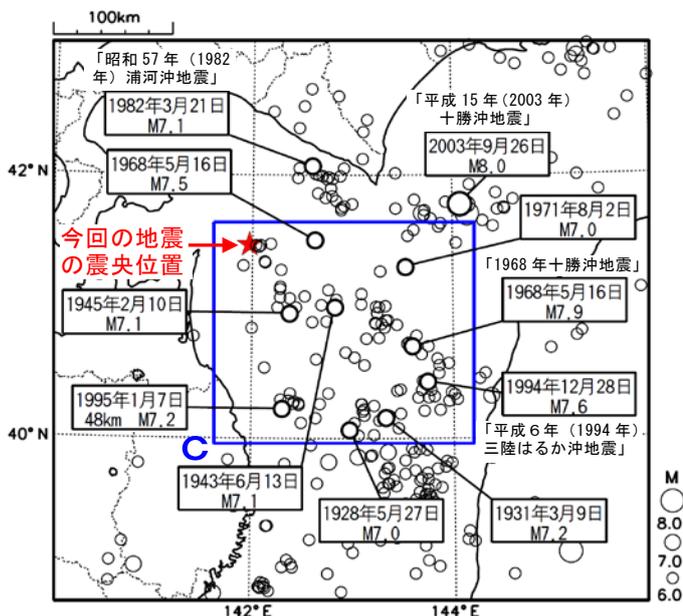
2017年3月の地震を濃い○で表示  
図中の発震機構はCMT解



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図  
(1923年1月1日~2017年3月31日、  
深さ0~100km、M≥6.0)

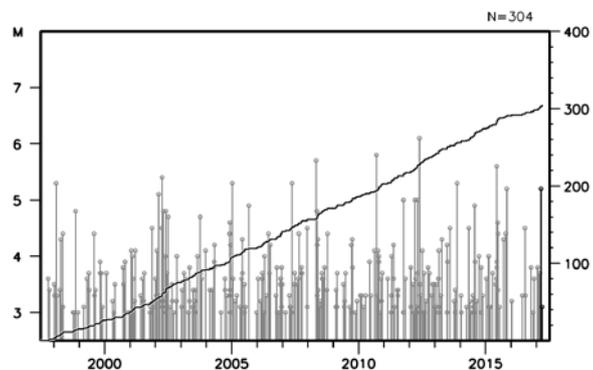


2017年3月8日01時08分に青森県東方沖の深さ65kmでM5.2の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

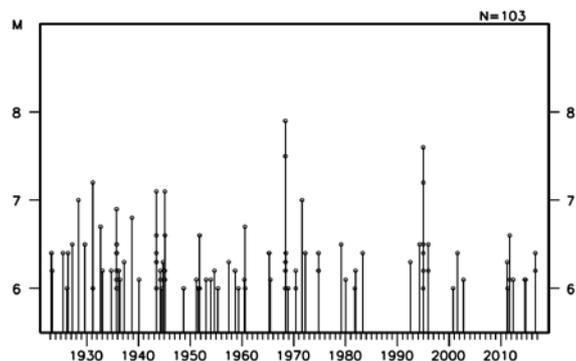
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、2012年5月24日にM6.1の地震(最大震度5強)が発生するなど、M5.0以上の地震が15回発生している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M7.0以上の地震が9回発生している。1968年5月16日09時48分に「1968年十勝沖地震」(M7.9)が発生し、死者52人、負傷者330人、住家全壊673棟、半壊3004棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図

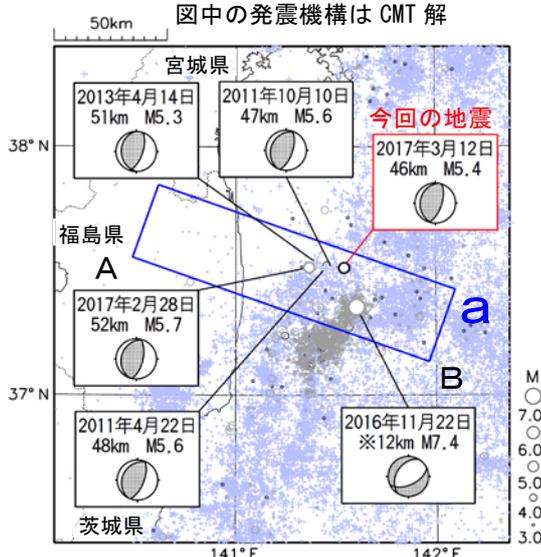


# 3月12日 福島県沖の地震

## 震央分布図\*

(1997年10月1日～2017年3月31日、深さ0～100km、 $M \geq 3.0$ )

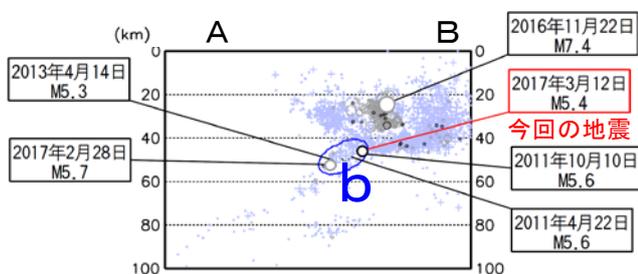
2016年11月21日以前に発生した地震を+、  
2016年11月22日以降に発生した地震を薄い○、  
2017年3月に発生した地震を濃い○で表示  
図中の発震機構はCMT解



\* 2016年11月22日～2017年1月31日の期間は未処理のデータがある。

※ 2016年11月22日の地震 (M7.4) の深さはCMT解による。

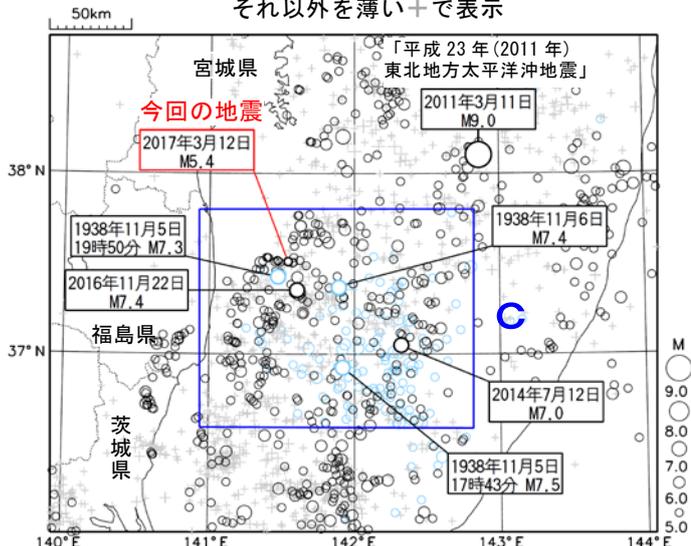
## 領域a内の断面図 (A-B投影)



## 震央分布図

(1923年1月1日～2017年3月31日、深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ )

1938年11月1日～12月31日に発生した地震を○、  
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を濃い○、  
それ以外を薄い+で表示

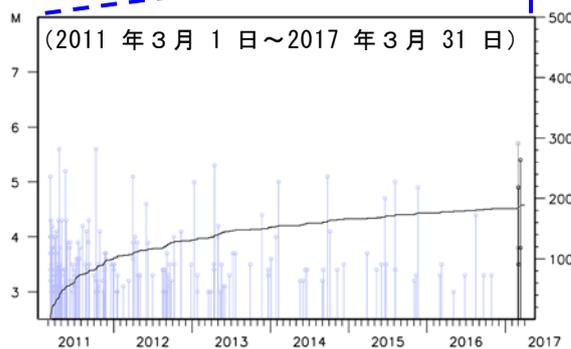
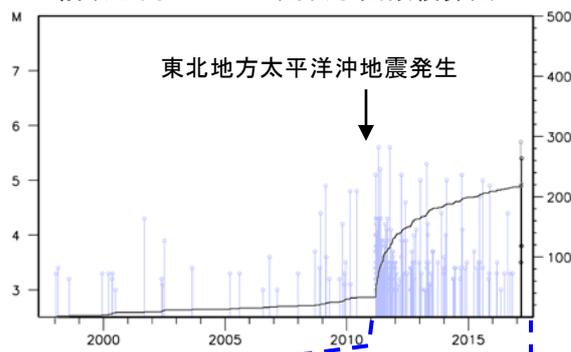


2017年3月12日04時57分に福島県沖の深さ46kmでM5.4の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」 (以下、東北地方太平洋沖地震) の発生以降、地震活動が活発化し、M5.0を超える地震も発生している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1938年11月5日17時43分にM7.5の地震が発生した。この地震により、宮城県花巻で113cm (全振幅) の津波が観測された。この地震の発生後、地震活動が活発となり、同年11月30日までにM6.0以上の地震が25回発生していた。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

## 領域b内のM-T図及び回数積算図\*



## 領域c内のM-T図

